

# わかくさ

第21号

発行 秋田市少年指導センター  
〒010-8506 秋田市東通仲町4番1号 電話 018(884)3869  
(秋田拠点センターアルヴェ5F 子ども未来センター内)  
編集 秋田市少年指導委員 広報部会



第30期少年指導委員委嘱式



感謝状授与式

## 第30期 秋田市少年指導委員委嘱式行われる

7月9日(火)に、秋田市役所正庁において、第30期秋田市少年指導委員委嘱式が行われ、秋田市長から少年指導員265名に委嘱状が交付されました。また10年以上活動を行ってきた少年指導委員9名の方々に感謝状が贈呈されました。

- (中央第二) 川口 雅丈
- (中央第二) 桜田 慎一郎
- (土崎地区) 古井 秀行
- (東部地区) 池田 英実
- (南部地区) 乙供 美香
- (河辺地区) 加賀谷久美子
- 高島 裕美子
- 佐藤 美由紀
- 鈴木 克幸

### 市の記念日式典における一般表彰

7月12日(金)に、秋田芸術劇場ミルハスにおいて、市の記念日式典が開催され、秋田市長から、永年にわたり秋田市少年指導センター少年指導委員としてご尽力いただいた4名の方々に表彰状が贈呈されました。

- (中央第二) 佐々木 淳
- (北部地区) 鈴木 寿
- 阿部 幸子
- 伊藤 裕子

## 令和6年度 秋田市少年指導センターの活動

今年度は4月から、コロナ禍前のように運営協議会や第30期秋田市少年指導委員委嘱式、地区代表者会議等を実施することができました。7月には各地区少年指導員会も新体制となり、計画的に活動を進めてきました。10月には「少年育成団体情報交換会」を開催し、警察署からの情報提供を受け、管内ごとに分かれて情報交換をしました。11月には「秋のこどもまんなか月間」のキャンペーンを各地区で実施し、あいさつ運動やキャンペーングッズの配布など、地区の状況に合った活動を行いました。

また、令和6年度秋田市少年指導委員研修会も実施しました。秋田中央警察署生活安全課少年育成支援官の里崎裕子氏と高堂清世氏より「巡回時の声かけ方法について」と題して講演をしていただきました。前半は少年非行の現状についてと声かけ時の心得についてお話をいただきました。後半は指導員の方々に参加していただき、実践形式で声かけ方法を学びました。少年指導員が活動するため必要な知識を学ぶことができ、たいへん有意義な研修会となりました。



少年指導委員研修会

「優しさが勝つ」



秋田市少年指導センター

所長 加藤 斉

昨秋、メジャーリーグのワールドシリーズで大谷翔平選手と山本由伸投手が所属するロサンゼルス・ドジャースが、ニューヨーク・ヤンキースに勝って、ワールドシリーズ優勝を果たし、日本中が歓喜に沸きました。

超一流の優れた選手が多く所属する両チームにおいて、勝敗を分けた理由は何だったのでしょうか。野球経験の乏しい私が話すのもおこがましいと思っておりますが、大谷選手の優勝コメントから一つ感じたことがあります。それは、チームメイトのことはもちろんのこと、相手チーム・選手のことよりもリスペクトすることを忘れず、チーム内で人が多くいる中、選手同士が互いの役割を理解し、支え合って戦ったところが、少しいだけドジャースの方が上回ったからではないでしょうか。

優勝とは最も優れたものが他に勝つ。一位で勝つことですが、優れた者同士が戦って勝ち切る場合、そこにはお互いに思いやる気持ち、優しさが必要不可欠なのかもしれません。「優しさが勝つ」。優勝にはそんな意味も込められているのだと思います。

少年指導委員の皆様のご活動におかれまして、日頃のあたたかい声かけや見守り続ける優しさこそが、子どもたちの安心感につながり、犯罪抑止や非行防止に大いに役立っていることと思っております。

今後とも、少年指導委員の皆様のご活動が、地域の子どもたちとの大きなつながりになるとともに、子どもたちが心身ともに健やかに成長できますよう、お力添えをお願い申し上げます。

学校の特色ある健全育成活動

秋田ふきとともにも育む142年の歩み

「ふきっ子フェス」に込める願い



秋田市立仁井田小学校

校長 佐藤 琢磨

今年度、創立142年を迎えた本校は、明治15年に「河辺第十二学区村立仁井田小学校」として創立され、初代校長・館岡政千代が自宅を校舎として開校しました。

本校の校章には、江戸時代末期から仁井田地区で栽培が盛んになった「秋田ふき」がデザインされています。その3枚の葉は、子どもたちの成長を象徴するイメージとして表現されています。右下の葉は1・2年生を、左下の葉は3・4年生を、真ん中の大きな葉は5・6年生を表しています。そして、3本のふきの根元は、子どもたちの団結を象徴しています。上級生は下級生を慈しみ、下級生は上級生を敬い、郷土の期待や父母の愛情に応え、教育に感謝することのできる子どもたちに育つようにとの願いが込められています。

その願いを具現化する特色ある活動の一つが、全校縦割り活動で行う「ふきっ子フェス」です。1・6年、2・5年、3・4年をペアとして、7・8名ずつのグループをつくり、それぞれがアイデアあふれる遊びやゲームを考えて出店を開きます。今年のテーマは「ペアといっしょに盛り上げよう！笑顔あふれるふきっ子フェス!!」です。年上の子どもがリーダーシップを発揮して、年下の子どもがそれを支えることで、社会性や協調性が育まれます。今後もこのような活動をを通して、思いやりの心や感謝の心を育み、前向きに生活しようとする心の醸成に努めてまいります。



「あしたを楽しみな学校」に

秋田市立下新城小学校

教頭 佐藤 玲子

一面に広がる緑の田園、彩り豊かに輝く太平山。美しい自然に囲まれた本校は、創立149周年を迎えました。キャッチフレーズ「ともにあしたを創ろう」のもと、子どもたちが取り組んでいる特色ある3つの教育活動を紹介いたします。

一つ目は、「なかよし活動」です。毎日の清掃活動、ドリーム農園活動、スピーチ集会、なかよしオリエンテーリングなど、年間を通して全校縦割り活動を行っています。上学年から学び、下学年に優しく教えることで、子どもたちは仲間への信頼を強め、仲よく思いあつて活動しています。

二つ目は、「郷土に根ざした体験活動」です。米作り活動、果樹園での袋掛け・収穫体験などの農業体験は、ふるさとのおよさや地域を支える人々の思いに触れることができる大切な機会となっています。

三つ目は、「新秋田音頭・下小太鼓」です。20年以上続いてい本校の伝統的な活動で、学習発表会や地区敬老会などで披露しています。特に、下小魂を受け継ぐ下小太鼓は、その迫力に感動し涙する方もいるほどです。子どもたちの地域貢献への意識も高まっています。

令和9年度には飯島小学校と統合することになります。閉校までの日々も下新城小学校の絆を深め、地域の方々とともに「あしたを創っていい」と思っています。







# 山王魂 やる気燃ゆる者

## 道を開く

秋田市立山王中学校

教頭 熊谷 直邦

本校は昨年度創立70周年を迎えた秋田市中部の官庁街に位置する歴史と伝統ある学校です。生徒の合い言葉「勇往邁進」のもと、人のために役に立つ喜びを実感できる活動を大切に教育活動を推進しています。本校では毎年、秋田の夏を代表する「竿燈まつり」に参加しています。市内で参加する中学校は本校のみとなりましたが、昭和49年に初めて参加して以来、今年で51回目を数えます。

今年度は総勢69名の生徒が郷土芸能クラブに入部しました。祭り当日は、山王中の半纏を纏い、提灯が明々と灯る屋台を中心に、軽快なお囃子と差し手による中若の演技を披露しました。高知県から訪れた観光客の方々からのたくさんさんの拍手と激励の声に大喜びしながら言葉をお交わす生徒、演技後に手作りのしおりを観客に手渡ししながら秋田のPRをする生徒など、微笑ましい交流の姿が各所で見られ、満足感、達成感と共に、生徒の自己有用感の高揚に大いに寄与していることを実感することができました。

また、竿燈まつりの前後には、生徒会が全校生徒に呼びかけ、「環境防衛隊」と称した地域清掃を行います。全国から集まる多くの観光客の方々に気持ちよく祭りを楽しんでもほしいという願いが届くよう、たくさんさんの生徒たちが朝早くから祭り会場周辺の道路脇を清掃します。竿燈本番だけではなく、陰で支えるサポーターとしての役割も担っています。11月からの冬期間には、月一回地域の方との合同練習「どっこい



しょプロジェクト」を実施しています。このような竿燈を通じた1年間の歩みは、地域や竿燈会の方々の温かいご支援と直接的な触れ合いに支えられています。この中で生徒は秋田の伝統文化の担い手として、地域の中で活躍できる自己の存在を再確認します。人のために役立ちたい、活動したいという山王中生の「志」が花開く瞬間とも言える本校の特色ある活動です。来年の夏も熱い祭りの時期がやってきます。山王中生はこれからも祭り会場で地域と共に躍動し続けます。



### 専門家の力をお借りした取組について 心の通う人間関係作りを目指して

秋田市立外旭川中学校

教頭 山尾 有美

今年度創立77年目を迎えた本校は、目の前に広々とした水田が広がり、時に様々な野生動物も訪れる、自然豊かな学校です。優しく穏やかな生徒たちですが、それだけに、様々な思いやストレスを内に秘めてしまふ姿も見られます。そこで今年度は、専門家の力をお借りしながら、様々な手法で思いを表出する方法や、他者と上手に関わる方法を教えていただく機会を設けました。

一つ目は、秋田魁新報社主催の「SOSの出し方・受け方講座」への参加です。臨床心理士の久保山武成先生からストレスへの対処方法等を教えていただきました。二つ目は、本校スクールカウンセラーの佐藤健先生による、エンカウンターの実施です。「気持ち達めた伝え方・言い方」について教えていただきました。気持ちのキャッチボールです」という先生の言葉通り、楽しそうに活動に取り組みむ生徒たちの笑顔が印象的でした。



### 笑顔でコミュニケーション

秋田県立秋田北高等学校

教諭 奥山 桃子

本校は校訓「自求真善美」のもと、広い視野を持ち、社会の変化に対応できる力を身に付けるとともに、知性、品性、感性に優れた、心身共に健康な人間を育成することを目指しています。今回は、保健・教育相談部主催の「ソーシャルスキルアップセミナー」を紹介します。

このセミナーは、教育職や医療・看護・福祉職を希望している生徒や、心理学に興味がある生徒、自己啓発に役立てたいと思っている生徒に向けた、全三回のセミナーです。講師はスクールカウンセラーの柴田健先生です。セミナーの概要は次の通りです。

- 第一回 マインドフルネススキル  
自分の考え方、感じ方に気づく／怒りのもとに気づく／自分の強みに気づく
- 第二回 ジョイニング入門  
上手な聞き方のポイントを知る／会話をスムーズに進める質問方法を知る／ズレや思い込みに気づく
- 第三回 肯定的な聞き方・伝え方のスキル  
をつかむ

上手な伝え方のポイントを知る／会話を広げるポイントを知る／良好な人間関係を築く言葉を知る  
約1時間半、生徒たちはわいわい話し、笑い、うなずき合いながら、輝く表情で活動していました。「人と関わる中で、相手との協力や自分の感性を大切にしなければならぬ」と気づかされるよい経験だった」との感想もありました。他者との関わり合い方について学ぶ機会を与えてくださった講師の先生に心から感謝申し上げます。



### 地区少年指導委員会紹介

#### 中央第一 委員数 31名

〔担当区〕秋田南中 山王中 秋大附中  
 中通小 築山小 保戸野小 旭北小  
 旭南小 川尻小 秋大附小  
**会長** 森 洋  
**事務担当** 高橋 文子

#### 中央第二 委員数 27名

〔担当区〕泉中 八橋小 泉小 寺内小  
**会長** 菊地 峯生  
**事務担当** 岩谷 文子

#### 土 崎 委員数 38名

〔担当区〕土崎中 将軍野中 外旭川中  
 飯島中 土崎小 港北小 土崎南小  
 高清水小 外旭川小 飯島南小  
**会長** 相楽 裕  
**事務担当** 安井 緑

#### 西 部 委員数 33名

〔担当区〕秋田西中 勝平中 日新小  
 浜田小 豊岩小 下浜小 勝平小  
**会長** 福井 精  
**事務担当** 遠藤 明子

#### 東 部 委員数 36名

〔担当区〕秋田東中 城東中 桜中  
 明徳小 旭川小 太平小 東小  
 下北手小 広面小 桜小  
**会長** 船木 勇一  
**事務担当** 工藤 明美

#### 南 部 委員数 43名

〔担当区〕城南中 御野場中 南高等部  
 御所野学院中 牛島小 上北手小  
 大住小 仁井田小 四ツ小屋小  
 御所野小  
**会長** 鳥井 修  
**事務担当** 小松 友子

#### 北 部 委員数 27名

〔担当区〕秋田北中 飯島小 下新城小  
 金足西小  
**会長** 菅原 琢哉  
**事務担当** 鈴木田鶴子

#### 河 辺 委員数 15名

〔担当区〕河辺中 岩見三内中 河辺小  
 岩見三内小 戸島小  
**会長** 鈴木 克幸

#### 雄 和 委員数 15名

〔担当区〕雄和中 雄和小  
**会長** 永澤 淑彦  
**事務担当** 佐々木昌子

### 専門部会紹介

#### 巡回指導部会

**部会長** 川口 雅丈 (中央第一)  
**副部会長** 豊島 康弘 (中央第二)  
 遠藤 明子 (西部)

#### 環境浄化部会

**部会長** 浅野 義信 (土崎)  
**副部会長** 齊藤 康英 (土崎)  
 福井 精 (西部)

#### 広報部会

**部会長** 高橋 政子 (西部)  
**副部会長** 越後谷恵理 (北部)  
 中嶋 希望 (雄和)

### わかぐさネット配信中!

少年指導センターのホームページでも読むことができます。

検索 秋田市少年指導センター

### 令和6年度のあゆみ

- 4月・特別巡回(観桜会)
- 6月・第1回少年指導センター運営協議会
- 7月・第74回社会を明るくする運動 キャンペーン
- 青少年の非行・被害防止全国強調月間
- 第30期少年指導委員委嘱式
- 特別巡回(土崎港曳山まつり、セリオン花火大会)
- 8月・特別巡回(竿燈まつり、雄物川花火大会)
- 第1回地区少年指導委員会代表者会議
- 第30期秋田市少年指導センター専門部会合同会議
- 10月・第1回広報部会
- 青少年育成団体情報交換会
- 11月・秋のこともまんなか月間キャンペーン
- 少年指導委員研修会
- 12月・第2回広報部会
- 特別巡回(年末)
- 1月・第2回地区少年指導委員会代表者会議
- 2月・第2回少年指導センター運営協議会
- 広報紙「わかぐさ」21号発行
- 通年・定例巡回(月3回)
- 地区巡回(随時)

### 少年相談受理状況

12月末現在の相談件数は○件で例年に比べ多くなっています。青年の継続相談が△件で、小学生が1件、中学生が1件、高校生が4件で本人からの相談が2件でした。

相談の内容は、職場での人間関係、転職について、孫の言動が気になる、子どもの学校生活について、自分の趣味を母親に理解してもらえない、学校行事に参加したくない、思春期の息子の異性への関心等の悩みでした。

青少年に関する相談電話

来所相談可能

相談員が対応します

わかぐさ相談電話

☎ 018-884-3868

受付時間 月 10:00~12:00 13:00~16:00  
火~金 9:00~12:00 13:00~16:00

秋田市少年指導センター

※ R 6 年度 SNS 投稿画面

### 編集後記

子どもたちが目にしたり聞いてしまったりすると大丈夫かな、というように暗いニュースが多く、もし何か不安な思いがあったりしたら子どもたちに声をかけてもらえるような存在になりたいと思います。挨拶を交わす、顔をよく見ると。身近で親しみの持てる大人の一人でありたいです。

広報誌「わかぐさ」21号にご寄稿・ご協力いただいた方々に、心よりお礼申し上げます。

広報部員一同

